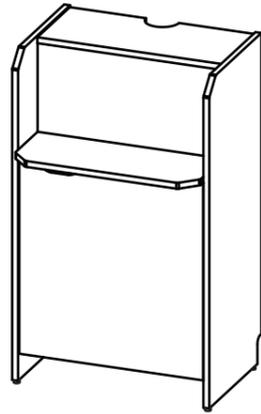


無人受付カウンター 組立説明書

RFRCB-6047DM (OA, WH)

組立の目安
25分



組み立て方やお手入れに困ったら
アールエフヤマカワ お客様相談室



部材一覧 ※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

Ⓐ 天板 ×1 	Ⓑ 左側板 ×1 <p>アジャスター取付済</p>	Ⓒ 右側板 ×1 <p>アジャスター取付済</p>	Ⓓ 前板 ×1 	Ⓔ 背板 ×1
Ⓕ 棚板 ×1 	Ⓖ 可動棚板 ×1 	Ⓗ 底板 ×1 	Ⓙ 巾木 ×1 	⓫ 開き扉 ×1
Ⓚ 棚ダボ ×4 	Ⓛ 背板止め ×4+予備 	Ⓜ 十字穴付き皿タッピンネジ (小) ×4+予備 <p>※背板止め用</p>	Ⓝ 丁番 ×2 	Ⓞ 十字穴付き皿タッピンネジ (大) ×8+予備 <p>※丁番用</p>
Ⓟ クッションシール ×1 	Ⓠ 木ダボ ×8+予備 	Ⓡ ジョイントシャフト ×16+予備 		

重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

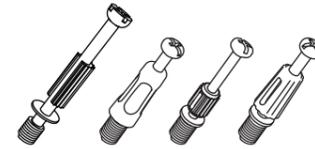
本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

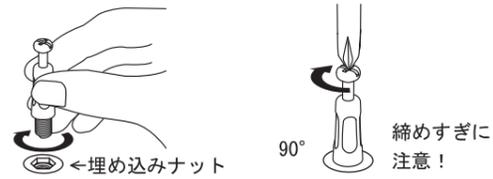
※商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

ジョイントシャフト

※商品によってジョイントシャフトの形状が異なる場合がありますが、使用上問題ございません。



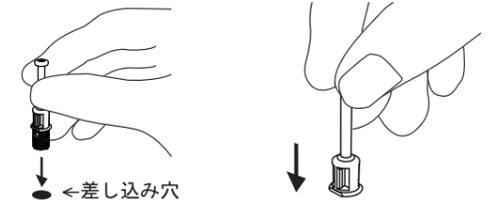
ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



差込ジョイントシャフト



ジョイントシャフトを指定の板面穴に差し込みます。隙間が無いように最後まで差し込んでください。



適切な取り付け

ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。



最後まで入っていない

抜けや歪みの原因となります。



締めすぎ・差し込みすぎ

ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。

2. ジョイントシャフトの挿入

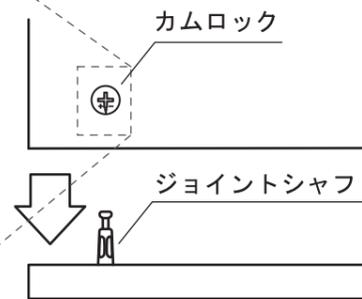
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには+又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。



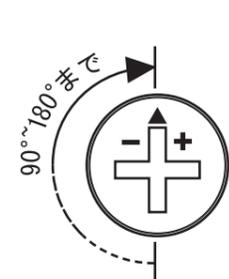
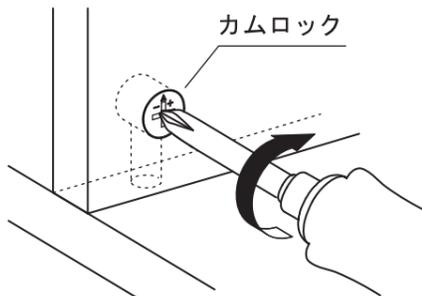
適切な差し込み



隙間が空いている
正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°~180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



正常な締め付け

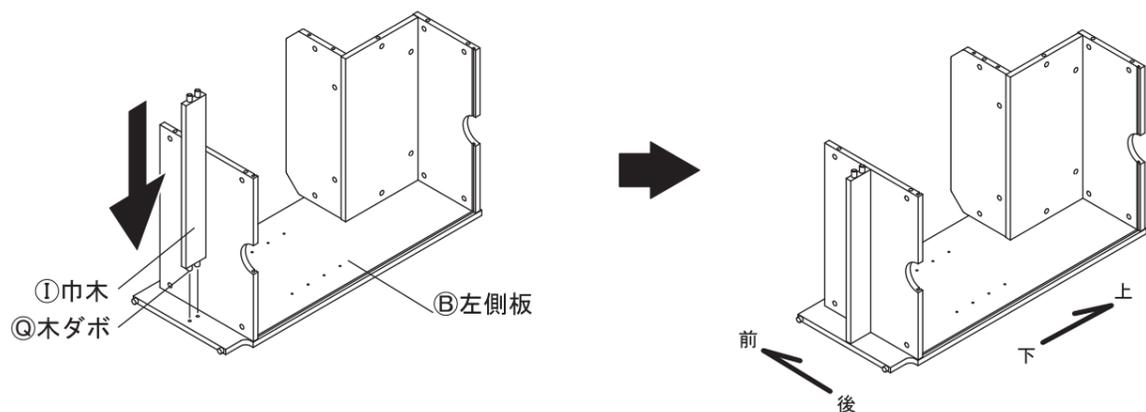


締めすぎ

無理に回すと破損の原因となります

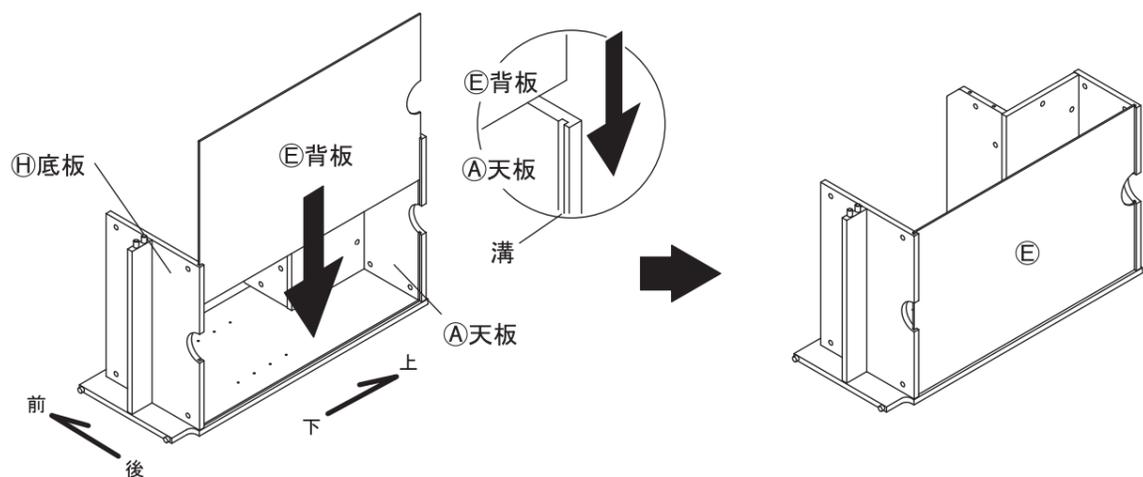
7

①巾木に③木ダボを②左側板に差し込んでください。



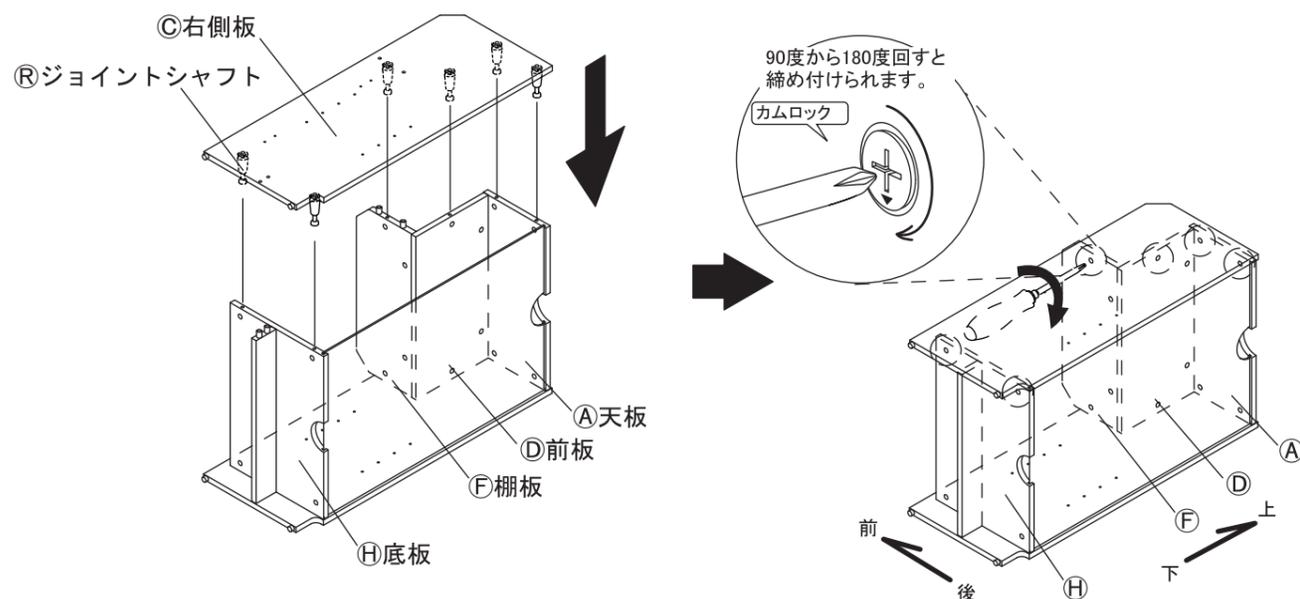
8

④天板と④底板の溝に沿って、⑤背板を差し込んでください。



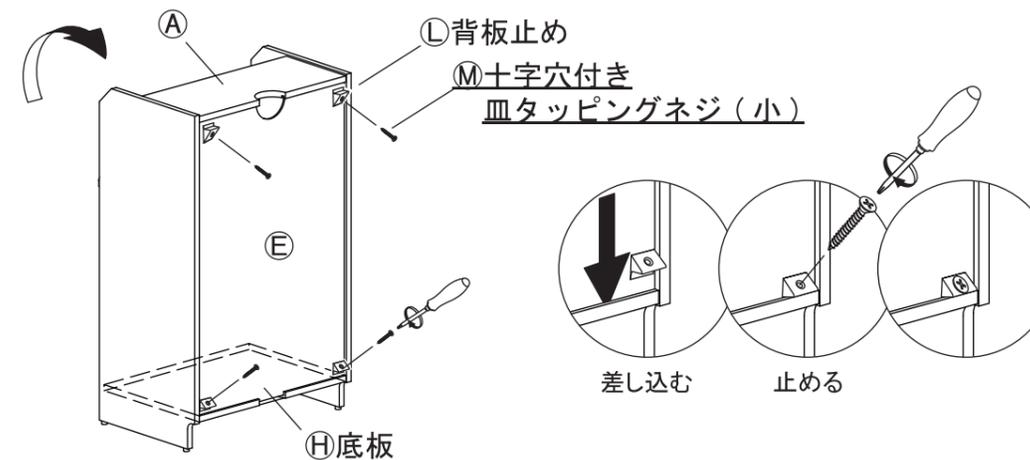
9

⑥右側板に取り付け済みの⑦ジョイントシャフトを、⑧で組み立てた④天板・④前板・④棚板・④底板の横穴に差し込みます。その後、④天板・④前板・④棚板・④底板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



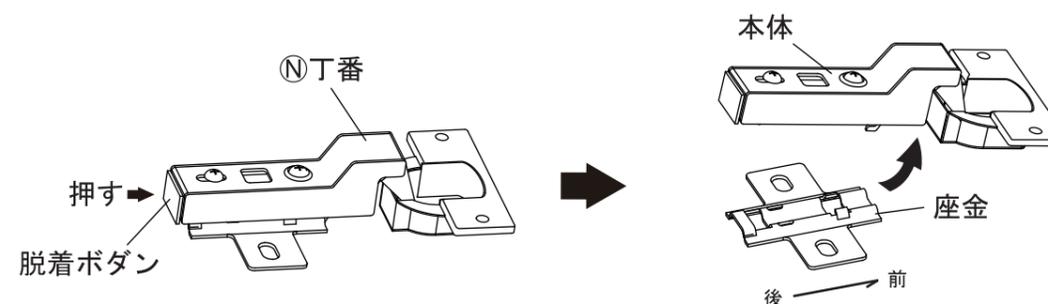
10

⑨で組み立てた本体を2人以上で起こしてください。
本体に、⑩背板止めを⑪十字穴付き皿タッピングネジ(小)で取り付けます。
⑫背板と⑬天板、⑫背板と⑬底板のすき間に背板止めを差し込みます。
その後、プラスドライバーを使ってネジでしっかりと固定してください。



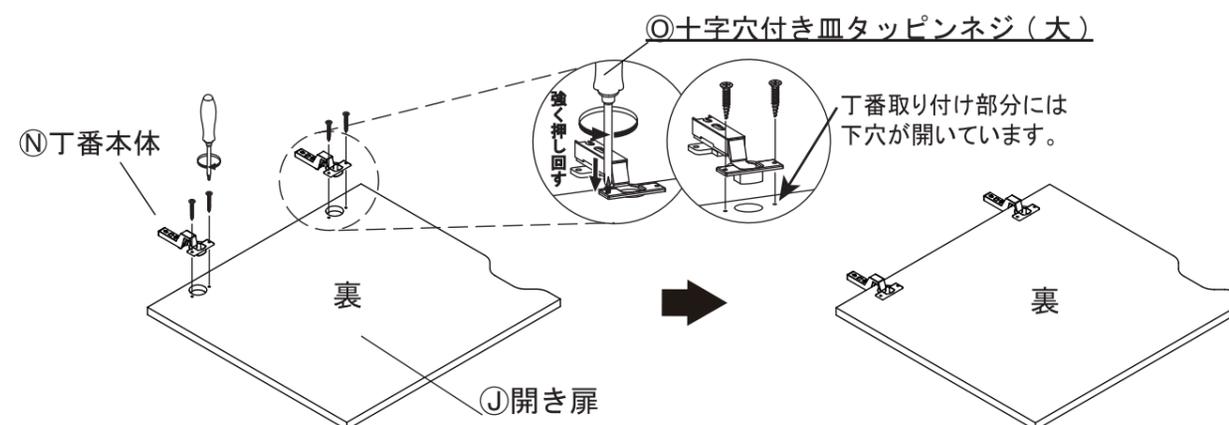
11

⑮丁番を取り付けます。
⑮丁番の脱着ボタンを押しながら丁番本体を座金から外してください。

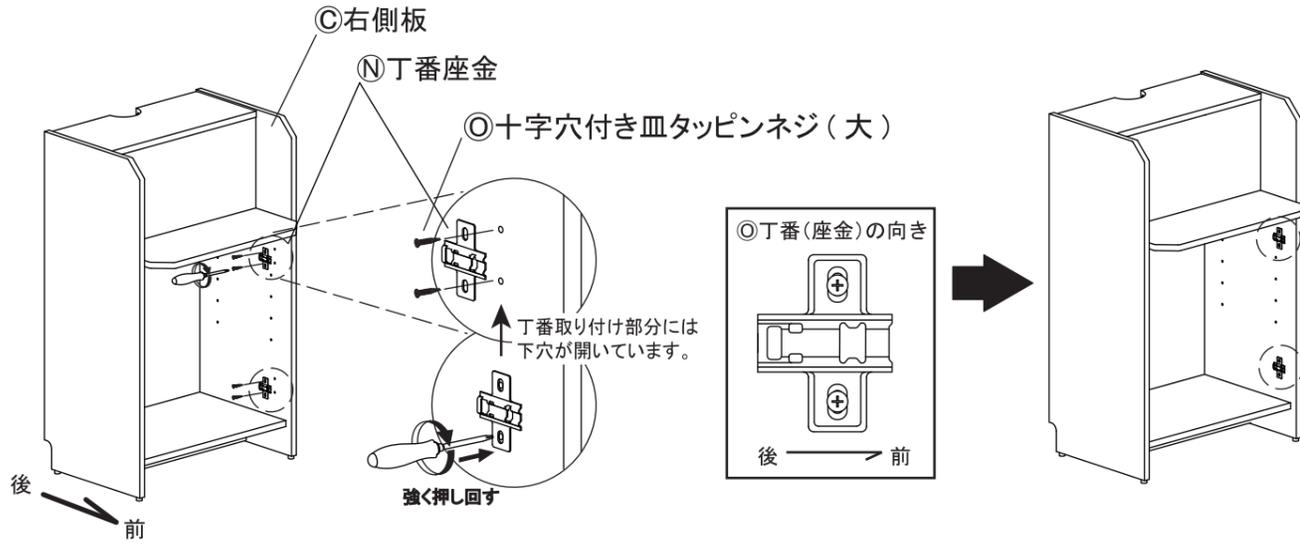


12

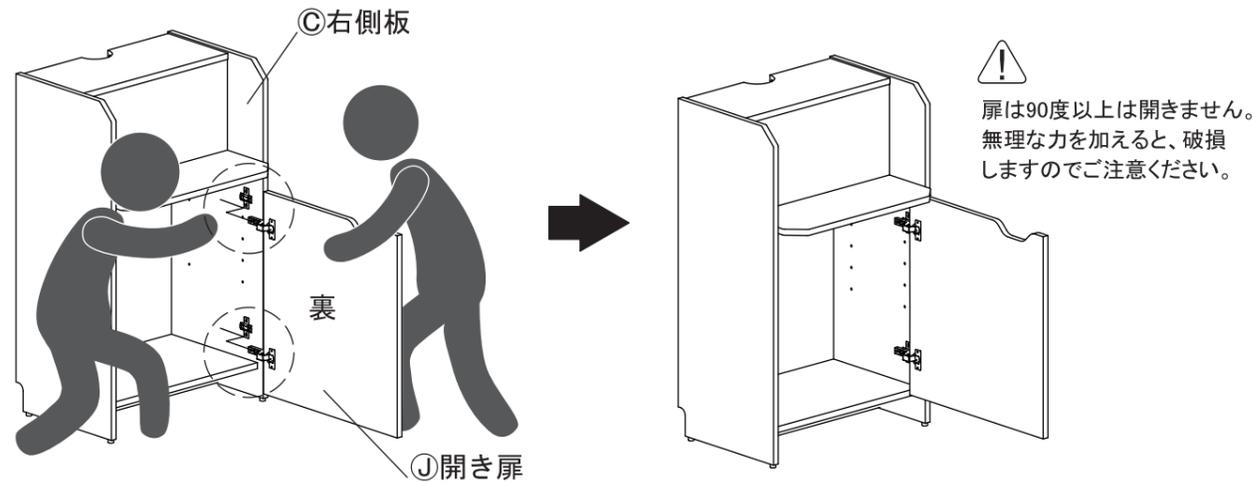
外した⑮丁番本体を⑯開き扉に取り付けます。
⑰十字穴付き皿タッピングネジ(大)で⑮丁番本体を取り付けてください。
プラスドライバーでネジを強く押し込みながら回し入れてください。



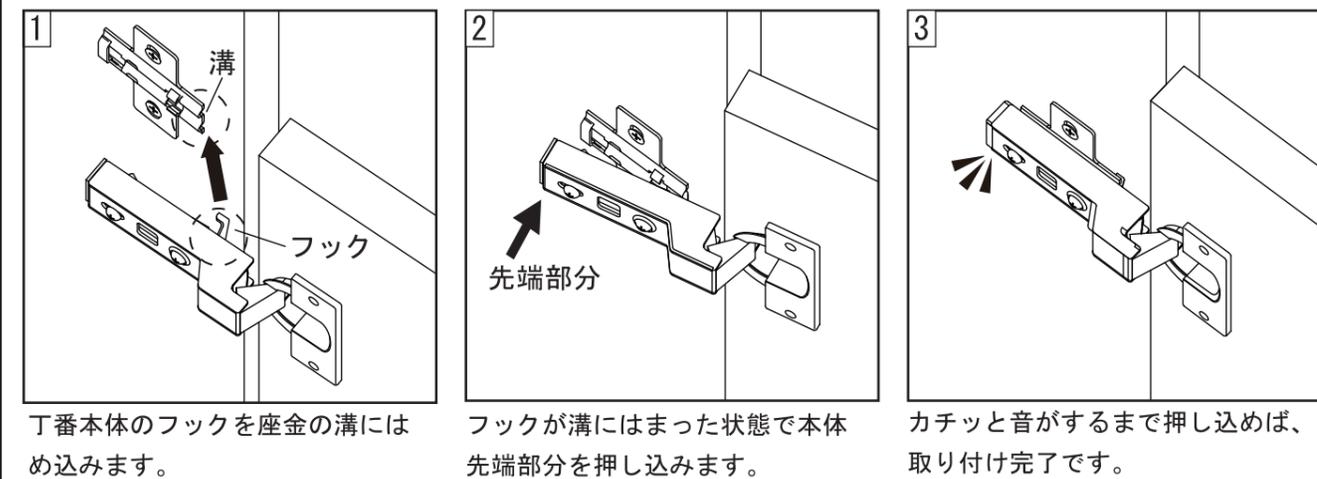
- 13 ①丁番の座金を②右側板に取り付けます。
①丁番の座金をプラスドライバーで③十字穴付き皿タッピンネジ(大)を強く押し込みながら回し入れてください。取り付けの際に、①丁番の座金の向きにご注意ください。



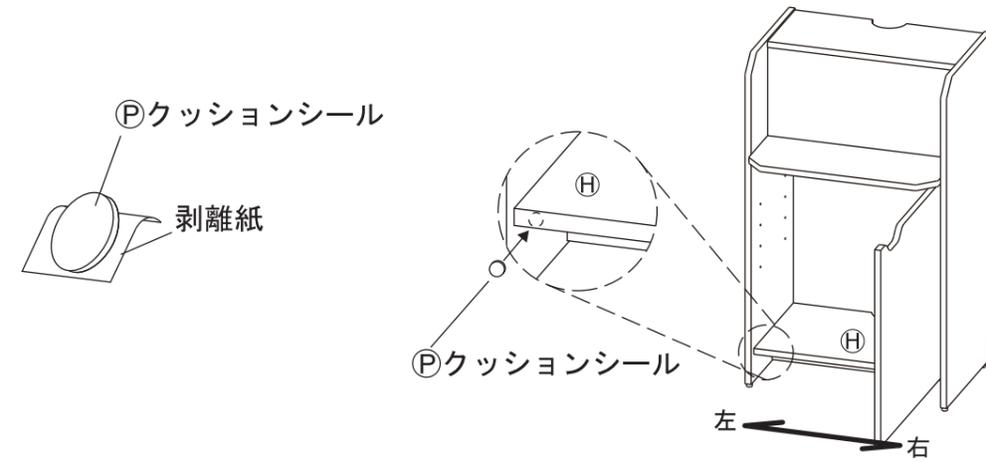
- 14 ①開き扉を②右側板に取り付けます。必ず2人以上で組み付けを行ってください。一人が①開き扉を持ち、丁番の本体と、座金を合わせます。もう一人が、①丁番の本体と座金の取り付けを行ってください。
■<丁番の調整方法>を参考に、扉板が床と水平になるように調節してください。



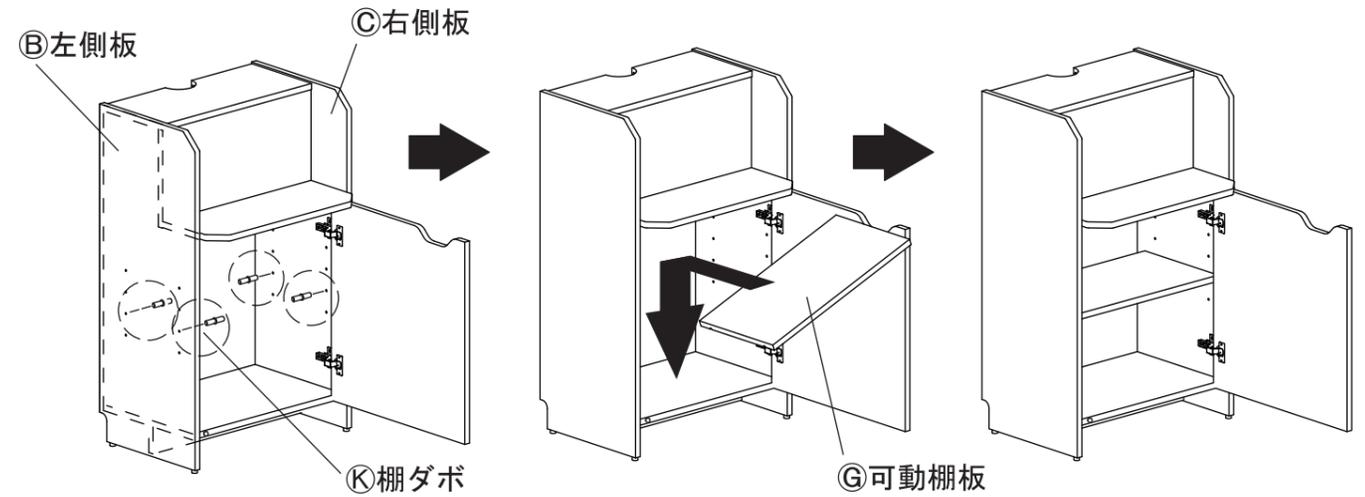
<丁番の取り付け方法>



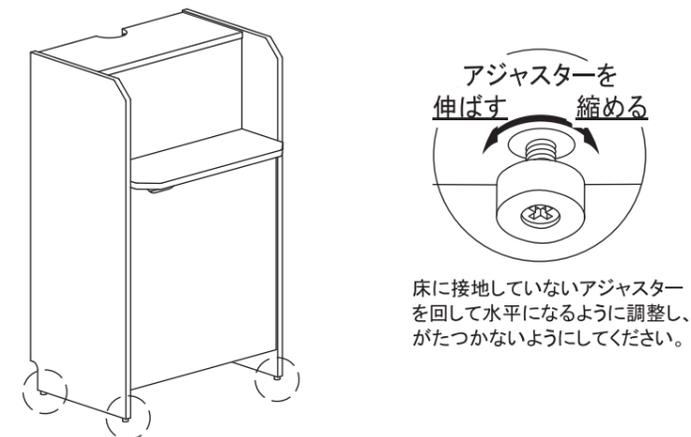
- 15 ①クッションシールを貼り付けます。
①クッションシールから剥離紙を剥がして②底板の左側に貼り付けてください。



- 16 ①可動棚板を取り付けます。②③左右側板のお好みの位置に④棚ダボを差し込み、⑤可動棚板を設置します。本説明書では、下から2番目に棚板を取り付けます。
※⑤可動棚板が設置しづらい場合は、傾けて内部に入れた後、設置してください。

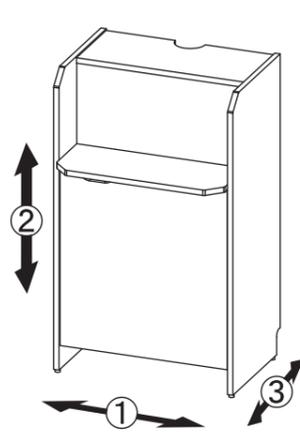


- 17 ①天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



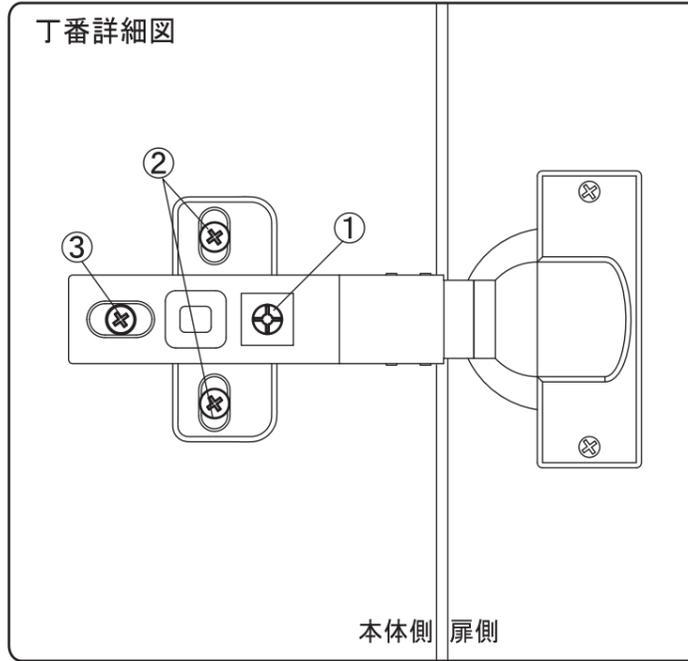
< 丁番の調節方法 >

取り付けした扉板が天板と水平になるように丁番の位置を調節します。
①～③のねじを緩めたり締め付けすることで微調整が可能です。
必ず2人以上で作業を行い、1人が扉を支えた状態で作業を行ってください。

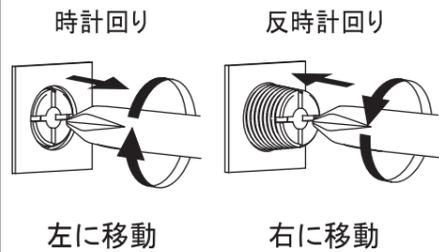


1人が扉を支えてください。

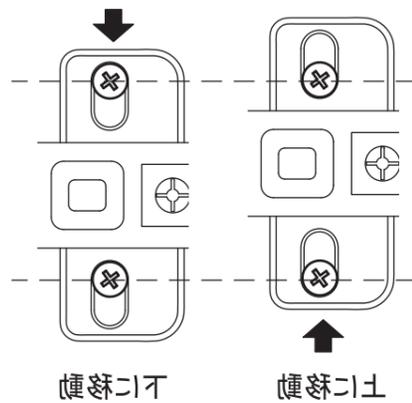
- ①…左右調節
- ②…上下調節
- ③…前後調節



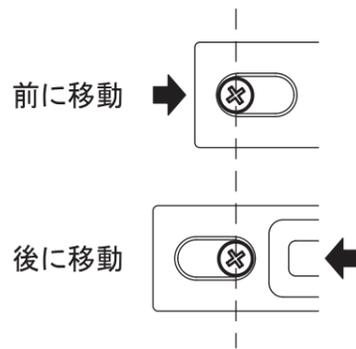
①左右調節
プラスドライバーで時計回りに回すと左に、反時計回りに回すと右に扉が動きます。



②上下調節
プラスドライバーでネジを緩め、扉を上もしくは下に移動させます。固定したい高さでネジを締め付け直してください。



③前後調節
プラスドライバーでネジを緩め、扉を前もしくは後に移動させます。固定したい位置でネジを締め付け直してください。



取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをする恐れがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- 可動部に指を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承いただきますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色、変形する場合があります。
- ▲大変危険ですのでお子様だけで操作移動をしないようお願いいたします。ケガや破損を招く恐れがあります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。
- ▲扉は90度以上は開きません。無理な力を加えると、破損しますのでご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするが固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、そのあと乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



< 品質表示 >

外形寸法 (mm)	幅	奥行	高さ
RFRCB-6047DM (OA, WH)	600	472	1005
耐荷重	天板・棚板 約 10kg (均等荷重)		
	可動棚板 約 5kg (均等荷重)		
材質	本体 合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			

商品チェック

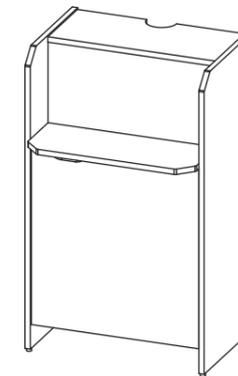
当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身での製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

✓ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- カムロックは正常に締め付けられているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
- 商品に隙間はないか
…カムロックとジョイントシャフトが正常に締め付けられているかをご確認ください。
- 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。



その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く) AM9:00~PM5:00 アール・エフ・ヤマカワ株式会社 お客様相談室	☎0120-204-208 FAX 059-256-5333
申込番号	
品名	無人受付カウンター
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	